

商品名 テナキシル錠1mg 医薬品基本情報

薬効	2149 その他の血圧降下剤	一般名	インダパミド錠
英名	Tenaxil	剤型	錠
薬価	10.10	規格	1mg 1錠
メーカー	アルフレッサ ファーマ	毒劇区分	

テナキシル錠1mgの効能・効果

本態性高血圧症

テナキシル錠1mgの使用制限等

1. 無尿、急性腎不全、体液中のカリウム減少、体液中のナトリウム減少、類薬で過敏症の既往歴、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、デスモプレシン酢酸塩水和物投与中＜男性における夜間多尿による夜間頻尿＞	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 心疾患のある高齢者	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	慎重投与
3. 重篤な脳動脈硬化症、重篤な冠動脈硬化症、痛風の家族歴、糖尿病の家族歴、痛風、糖尿病、嘔吐、下痢、高カルシウム血症、副甲状腺機能亢進症、減塩療法、交感神経切除後、重篤な腎障害、進行した肝硬変症、肝機能障害、肝疾患	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

テナキシル錠1mgの副作用等

1. 中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、皮膚粘膜眼症候群、Stevens-Johnson症候群、多形滲出性紅斑、紅斑、そう痒、粘膜疹、倦怠感、食欲不振、嘔気、嘔吐、痙攣、意識障害、低ナトリウム血症、脱力感、不整脈、低カリウム血症	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 代謝異常、低クロール性アルカローシス、総コレステロール上昇、高尿酸血症、高血糖症、BUN上昇、クレアチニン上昇、過敏症、発疹、食欲不振、悪心、嘔吐、口渇、眩暈、頭痛、頭重、立ちくらみ、脱力感、倦怠感	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
3. 中性脂肪上昇、高カルシウム血症、AST上昇、ALT上昇、ALP上昇、そう痒、湿疹、紅斑、光線過敏症、顔面潮紅、白血球減少、血小板減少、便秘、胃部不快感、胃重感、眠気、いらいら感、動悸、ふらつき感、疼痛、耳鳴、胸部不快感、顔のほてり、頻尿、夜間尿、下肢しびれ感、肩こり	記載場所	その他の副作用
	頻度	0.1%未満

4. 電解質異常

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

5. 電解質異常、脱水、血栓塞栓症、低ナトリウム血症、肝性昏睡、高ビリルビン血症、血小板減少、低血圧、立ちくらみ、めまい、失神、脳梗塞、低カリウム血症、水分／電解質異常、血液量減少、痙直、錯乱、多尿、乏尿

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

テナキシル錠1mgの相互作用

1. 薬剤名等：デスモプレシン酢酸塩水和物

発現事象	低ナトリウム血症
理由・原因	いずれも低ナトリウム血症が発現

投与条件	-
指示	禁止

2. 薬剤名等：バルビツール酸誘導体

発現事象	起立性低血圧を増強
理由・原因	これらの薬剤の中枢抑制作用と本剤の降圧作用

投与条件	-
指示	注意

3. 薬剤名等：あへんアルカロイド系麻薬

発現事象	起立性低血圧を増強
理由・原因	これらの薬剤の中枢抑制作用と本剤の降圧作用

投与条件	-
指示	注意

4. 薬剤名等：アルコール

発現事象	起立性低血圧を増強
理由・原因	アルコールは心血管系抑制作用があり、本剤の降圧作用を増強

投与条件	-
指示	注意

5. 薬剤名等：昇圧アミン

発現事象	血管壁の反応性が低下
理由・原因	-

投与条件	-
指示	注意

6. 薬剤名等：ツボクラリン及びその類似作用物質

発現事象	麻痺作用が増強
理由・原因	利尿剤による血清カリウム値の低下により、これらの薬剤の神経・筋遮断作用を増強

投与条件	-
指示	注意

7. 薬剤名等：降圧作用を有する薬剤

発現事象	相互に作用を増強
理由・原因	作用機序の異なる降圧作用を有する薬剤との併用により、降圧作用が増強

投与条件	-
指示	注意

8. 薬剤名等：ジギタリス剤

発現事象	心臓に対する作用が増強	投与条件	-
理由・原因	利尿剤による血清カリウム値の低下により、多量のジギタリスが心筋Na ⁺ -K ⁺ ATPaseに結合し、心収縮力増加と不整脈	指示	注意

9. 薬剤名等：糖質副腎皮質ホルモン剤

発現事象	過剰のカリウム放出	投与条件	-
理由・原因	ともにカリウム排泄作用を有する	指示	注意

10. 薬剤名等：ACTH

発現事象	過剰のカリウム放出	投与条件	-
理由・原因	ともにカリウム排泄作用を有する	指示	注意

11. 薬剤名等：グリチルリチン製剤

発現事象	血清カリウム値の低下	投与条件	-
理由・原因	グリチルリチン製剤は低カリウム血症を主徴とした偽アルドステロン症を引き起こすことがあるため、両剤の併用により低カリウム血症を増強	指示	注意

12. 薬剤名等：リチウム

発現事象	中毒を増強	投与条件	-
理由・原因	リチウムの腎における再吸収を促進し、リチウムの血中濃度を上昇	指示	注意

13. 薬剤名等：糖尿病用剤

発現事象	作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	利尿剤によるカリウム消失により、膵臓のβ細胞のインスリン放出が低下	指示	注意

14. 薬剤名等：非ステロイド性消炎鎮痛剤

発現事象	利尿降圧作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	非ステロイド性消炎鎮痛剤のプロスタグランジン合成酵素阻害作用により、腎内プロスタグランジンが減少し、水・ナトリウムの体内貯留が生じて本剤の作用と拮抗	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』

